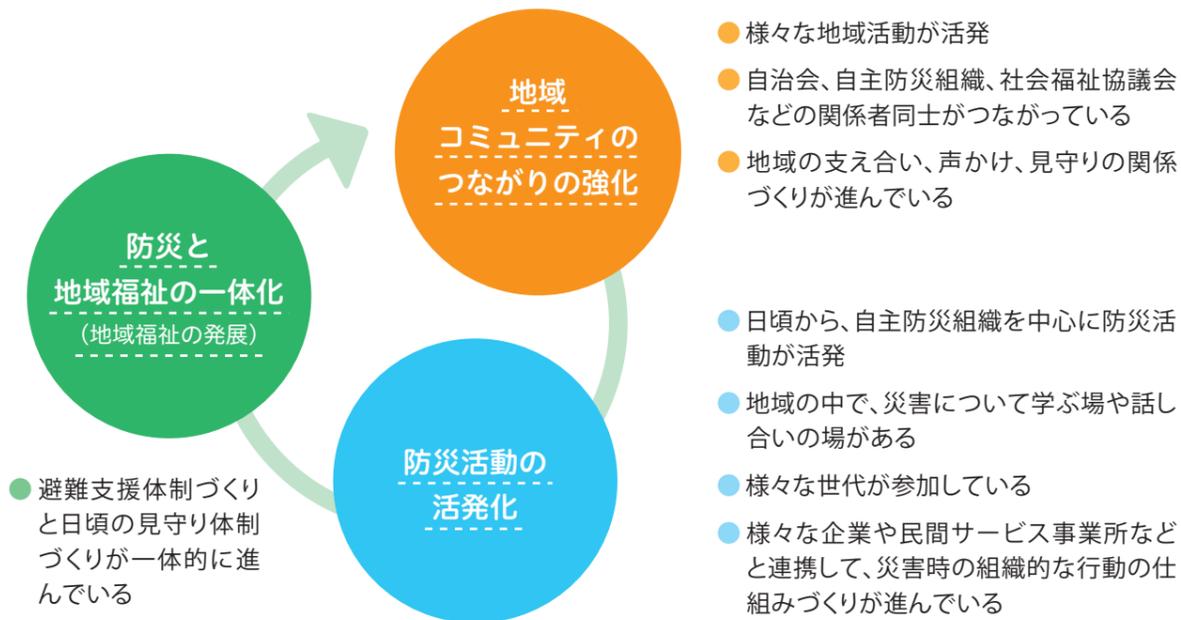


目指す地域の姿

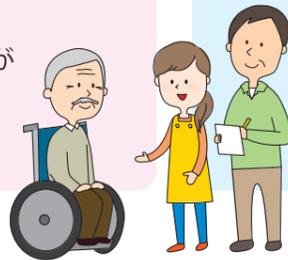


できることから始めましょう！
お互いさまの気持ちが災害に強い地域をつくれます

始めてみよう「自助」…

被害を減らすため、
すぐ逃げられるために

- 一人ひとりが日頃から災害に備えることで、いざというときに、慌てず、落ち着いて行動できます。
- 災害が発生すると地域の環境が一変します。日頃から十分な準備をしておきましょう。



始めてみよう「共助」…

被害を減らすための第一歩
「顔が見える関係づくり」

- まずは、日頃からお互い気にかけてることが大切！
- 「あいさつ」「声かけ」など顔が見える関係づくりが災害時にも助け合える地域づくりにつながります。

詳しくは…

「みんなで準備 みんなで避難 災害時要配慮者の避難支援の手引き」を、市のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【問合せ先】 大分市福祉保健部 福祉保健課
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
TEL 097-585-6022 FAX 097-534-6260



みんなで準備 みんなで避難



災害時要配慮者の避難支援の手引き(概要版)

近い将来発生すると言われている南海トラフ地震では、大分市でも東日本大震災と同じように大きな被害を受けることが予想されています。過去の大規模な災害では、近隣住民の助け合いである「共助」により多くの命が救われており、災害時に犠牲者を減らすためには、「自助」や「共助」の力が大切です。

名簿や個別避難計画を活用して、日頃からの準備を進め、災害に備えましょう

市では、高齢者や障がいのある方など(災害時要配慮者)のうち、災害時に一人では避難することが困難な方(避難行動要支援者)の名簿や個別避難計画を作成しています。また、避難行動要支援者ご本人から同意を得られた名簿等は、平常時から地域の避難支援の関係者に提供しています。この名簿や個別避難計画を活用して、日頃から「声かけ」や「訓練」など事前の準備を進めることが、災害時に助け合える地域づくりにつながります。

地域のみなさんのご理解とご協力をお願いします！

【災害時要配慮者】

災害時に特に配慮が必要となる方

(高齢者・障がい者・難病の人・乳幼児・妊産婦・外国人 など)
※生活の拠点が自宅にある方

【避難行動要支援者】

自力では避難ができない(手助けが必要な)方

- 家族だけでは避難対応が困難な方
- ひとりでは避難が必要か判断できない方 など

長期入院患者
施設入所者
など

※生活の拠点が
自宅にない方

地域で
気にかけてほしい
方々を総称して
「災害時要配慮者」と
呼んでいるんですね



提供までの
流れ

1

対象者に、情報を地域の関係者へ提供することへの意思を確認

2

同意が得られた方に、個別避難計画の作成と提出を依頼

3

同意が得られた方の名簿や個別避難計画を地域の避難支援等関係者へ提供

※市が作成する名簿は完全なものではありません。
地域からの情報提供(対象者の追加や情報の更新)をお願いします。



1 地域でお互いのことを知る

避難行動要支援者を把握する

市から提供を受けた「名簿」をもとに、地域のどこに、どんな支援を必要とした人がいるのか把握し、地域の関係者で情報を共有しましょう。
名簿情報は、自主防災組織や自治会などの団体・組織において、避難支援に必要な範囲で情報共有することが可能です。



※地域への情報提供については、ご本人やご家族の同意を得ておりますが、近隣の住民など、より広くお知らせする場合は、その共有範囲についてはご本人と話し決めることにしましょう。

2 地域で避難のことを考える

「個別避難計画」の確認・修正をする

ご本人やご家族が個別避難計画を作成しています。

●地域で確認の場をもとう

自主防災組織など、地域の関係者で集まり、想定される災害等について共通認識を持つと共に、情報伝達や安否確認の方法についても考えましょう。
また、誰が避難行動要支援者のお手伝いをするのかについて担当者を決めましょう。
少しでもご本人やその家族を知っている人であれば話がしやすいかもしれません。



●ご本人やご家族と話してみよう

ご本人やご家族と話をしてどのような支援を必要としているのか、具体的に詳しく聞きましょう。
支援者を確認し、避難場所・避難経路・避難方法を決めます。
支援者が決まらない場合は、自主防災組織や自治会など団体に支援することも検討してみましょう。



みんなで考え、決められることから進めていきましょう！

支援者の安全確保が大前提

「まずは自身やその家族の安全を確保したうえで、可能な範囲で支援を行う」ということを、地域の関係者全体で確認します

個別避難計画とは 災害時に適切な支援が行えるよう、普段から一人ひとりが、誰と、どこに、どうやって避難するかを決めたもの。

3 地域で行動する

訓練する ～計画した避難方法を試してみる～

よくできた個別避難計画でも、災害時に初めてやってみるのではうまくいきません。
普段から地域での訓練などを通じて、支え合える関係づくりを進めましょう。



訓練は実施した後の振り返りも重要です。
訓練でうまくいかなかったことや、もっとこうした方がいいというような気づいた点をふまえて、個別避難計画の見直しをしましょう。

みんなで支え合って、安全・安心な地域をつくりましょう

